

大学院生 のための 進路選択 ガイド

Career Path Guide



S-cubic

研究が楽しくて
博士後期課程に
進学したけど…

アカデミアに
進みたいけど
将来が見えないし…

自分の専門を
活かせる企業が
思い浮かばない…

周りには
キャリア相談
できる同期が
少ないし…

研究が忙しくて
就職活動が
なかなか
できない…



そんなあなたは、まず企業と接し
てみよう、研究をするなら産業界と
いう広く大きな世界がある事に気が
付きます。

思いもよらない企業があなたの方
うな人材を探しているかも

P4でHi-Systemへまず登録、
P11へGo!

D2/D3/PD
Type.1

【研究没頭タイプ】

●一生懸命研究に没頭し、気づいたら…さて将来どうしよう!!

あなたはどのタイプ?

Type.2
M1/M2/D1

●DC進学か就職か、考え時だなあ…

●まだ余裕があるぞ、アカデミアか
企業か、しっかりと情報収集しよう!!

【計画設計タイプ】



そんなあなたは、自分の専門性の
活かし方を探ってみよう、そして
プラスアルファのスキル習得で大きく
幅を広げられるかも

P4でHi-Systemへまず登録、
P6へGo!

早いうちに複数の
選択肢を検討して
おきたい…

研究は楽しいけれど
博士後期課程は
将来が不安…

企業では
どのような研究が
できるんだろうか…

大学と企業って
研究のやり方が
違うのかなあ…

社会に出てから
役立つスキルを
身に着けたい

人材育成本部が提供するプログラム全体像

※どの段階からでも利用できます。

企業就職 ▶ 活動開始

実践参加型
(DC・PD)

⑪ 博士力実践インターンシップ

業務を経験
……P16へ

⑩ 産学シーズ／ニーズマッチング人材交流会

企業で論議
……P15へ

⑨ 企業事業所視察

企業を見る
……P14へ

⑧ 赤い糸会&緑の会

企業と論議
……P12へ

⑦ J-window (進路相談)

DC・PD限定
……P11へ

余裕のないD2、D3、PDへ

⑥ ビジネスコミュニケーションセミナー

ステップアップ
……P7へ

⑤ ビジネスマナーの基本と実践

常識を知る
……P7へ

④ キャリアパス多様化支援セミナー

仕事を知る
……P10へ

③ Advanced COSA / COLA

企業を知る
……P8へ

② キャリアマネジメントセミナー

企業を知る
……P6へ

余裕のあるM1～D1へ

① Hi-System 登録

まずは
ここから!

全員登録!
……P4へ

意識改革型
(MC・DC・PD)

1 Hi-System登録 (Registration to the Hi-System)

MC・DC・PD

イベントの
お知らせが
届きます
(Event News)

企業情報や
就職情報の
閲覧が可能
(Company Info)

企業への
自己PRを
発信できます！
(Expose your PR
Information)

Hi-System

若手研究者 (MC/DC/PD) の社会活躍をサポートするWEBサイト
Exclusive information exchange platform



僕はアカデミア志向…
だけどTransferable Skill
はどんな場面でも必要だ。登録
して活用しよう!



MCでの就職も、DC進学後に
就職するのもおもしろそう。
情報やイベント満載だわ!
早く登録しよっと。



まずはご登録
ください!

Hi-Systemへは人材育成本部ホームページよりアクセス!
<http://www2.synfoster.hokudai.ac.jp/>
左バナー「Hi-System」→Hi-Systemログインページへ



みなさんをサポートするメンバーです



S-cubic

人材育成本部 特任教授
樋口 直樹
(ひぐち なおき)

S-cubicは10年以上前から医・歯・獣医を含む理工系大学院生のキャリア形成支援活動を推進しています。DC進学を考えているMCから、DC在學生、またPDの皆さんが、特に産業界へ進むために必要な情報や実践スキルの提供、カウンセリング、産業界とのマッチングの場の設定、インターンシップ派遣など、幅広く濃密なサービスを提供しています。Hi-Systemに登録し、積極的に活用して下さい。

スタッフ

特定専門職員	上野	あゆみ
事務補佐員	和田	優生
事務補佐員	菅原	侑子
技術補佐員	山本	規世
技術補助員	平	美郁



I-HoP

人材育成本部 特任教授
飯田 良親
(いいた よしちか)

I-HoPはS-cubicで実施しているプログラムを、英語で学ぶ外国人大学院生や研究者に提供しています。英語でのキャリアカウンセリングなど、是非ご活用ください。

スタッフ

事務補佐員 高木 美香



COFRe

人材育成本部 特任教授
吉原 拓也
(よしはら たくや)

COFReはS-cubicで実施しているプログラムに加え、6大学(東北大学、名古屋大学、大阪大学、お茶の水女子大学、横浜国立大学、兵庫県立大学)の様々なプログラムを北大の皆さんに提供しています。是非、それらの開催情報をお知らせするHi-Systemに登録し、企業と皆さんのマッチングやスキルアップにご活用ください。

スタッフ (DC・PD 担当)

事務補佐員 佐渡谷 有加 事務補佐員 中村 弥生



私たちが
サポート
します!

② キャリアマネジメントセミナー（授業）

1. 就職したい企業の分析法がわかる!
2. 企業の研究開発の考え方がわかる!
3. 企業マネジメント法を活用できる!



企業就職を目指す大学院生(MC・DC)や博士研究員(PD)向けの、1コマ毎の読み切りタイプの授業です。大学と企業での研究活動における考え方の違いや、企業研究人材として必要なマーケティング、マネジメント、プレゼンテーション、リーダーシップ、企画書の書き方など実践的な内容です。

昨年は400人を超す受講者がありました。函館の水産科学院にも同時中継しています。

H30年度実施予定

開催日時:平成30年4月9日～7月30日

毎週月曜日 4講時目(14:45～16:15) 全15回

工学部オープンホール(函館キャンパスへ中継)

日	講義内容	講師
4/9	基礎研究から新事業への道	人材育成本部 樋口直樹
4/16	イノベーションを起こす	人材育成本部 樋口直樹
4/23	企業の種類と分析	人材育成本部 樋口直樹
5/7	知的財産マネジメント	人材育成本部 吉原拓也
5/14	アントレプレナーシップ	GRAMUS 山下良一
5/21	プレゼンテーション	物質・材料研究機構/元NHK科学番組ディレクター 小林隆司
5/28	マーケティング	村上税理士事務所 村上幸男
6/4	商品創造/新商品開発	小林製菓 川西貴
6/11	リスクマネジメントとコンプライアンス	サントリーホールディングス 原口昭
6/18	企画書の書き方	人材育成本部 樋口直樹
6/25	企業(1)先端技術と新規事業	ダイキン 国政恵子
7/2	企業(2)先端技術と新規事業	ヤマハ 橋本誠一
7/9	企業(3)先端技術と新規事業	ハウス食品グループ本社 上野正一
7/23	企業(4)先端技術と新規事業	ANAホールディングス 津田佳明
7/30	リーダーシップ	人材育成本部 樋口直樹



1. 大学院共通授業科目
「キャリアマネジメントセミナー(MOT関連)」(2単位)
2. 生命科学院 生命科学専攻 大学院(博士)専門科目
(研究指導科目を含む)
キャリア実践科目「キャリアマネジメントセミナー」(2単位)
3. 水産科学院修士課程学院共通科目
「キャリアマネジメントセミナー」(2単位)
4. 農学院選択必修科目
「バイオ産業創成学」(2単位)

受講方法

①Hi-Systemに登録し、イベント情報から「H30キャリアマネジメントセミナー」へ申込み。

②単位希望者は①に加えて所属部局に履修届を提出。

※詳細はシラバスをご覧ください

受講者の声

平成29年度受講者アンケートより

研究だけでは知ることのできなかつたキャリアに関する知識を得ることができ、この講義を履修してよかったです。

この講義を通して企業に対しての考え方、自分自身の進路について考えることができました。リーダーシップやプレゼンテーション、マーケティングなどの話を聞くことができ、どのような能力を身に付ける必要があるのか、自分に足りないものは何かを考えるきっかけになりました。

様々な企業のコアな部分の話を聞くことができ、非常に面白かったです。将来を考えるにあたり、参考になる内容ばかりでした。一般的な大学院の講義では学べないようなこと、考えないようなことを意識できるようになったと感じました。講義で学んだことを研究室に持って帰り広めていきたいです。



⑤⑥ キャリアマネジメントセミナー（演習）

1. 就活のビジネスマナーが身につく!
2. プレゼンテーション力が向上する!
3. コミュニケーション力が向上する!



社会との接点構築に必要なビジネスマナー（礼儀作法、服装、挨拶など）及びビジネスコミュニケーションに関するセミナーです。

ANAビジネスソリューション(株)より経験豊かな講師をお迎えしています。

ビジネスマナーの基本と実践

H30年度実施予定

平成30年10月上旬（予定）

MC・DC・PD対象

スケジュール

- ・AM:講演(90分)
- ・PM:演習(270分)

平成29年度実施状況



札幌会場



函館会場

第1部は大人数制の講演、第2部は少人数制の演習です。

第1部ではビジネスマナーの基本である接遇の考え方や言葉遣いなどについて講演していただきます。

第2部では第1部の基本をふまえたうえで、名刺交換や訪問応対などロールプレイを交えた参加型の実習を行います。

平成29年度受講者アンケートより

相手の目線になって何事も行うことがビジネスでとても重要であることが分かりました。

全てのマナーは相手を思いやる心から生じていることがよくわかり、意識を変えていこうと思えた。

特に訪問応対マナーは、今後、面接等に臨むにあたってとても参考になりました。

実践できたことで、大変勉強になりました。特に自分の映像を見ながら気になる点を改善できたのはよい経験でした。

ビジネスコミュニケーションセミナー

H30年度実施予定

平成30年11月上旬（予定）

DC・PD対象（余裕があればMCも可）

スケジュール

演習 10:00～17:00

ビジネスマナーを含め企業の方とのコミュニケーションを中心に指導いたします。

相手に良い印象を残す話し方や、もう一度会ってみたいと思わせる話し方などコミュニケーションの取り方を中心に、自分の知識・情報・考えなどをより分かりやすく伝えるための自己表現方法を学びます。



平成29年度実施状況



平成29年度受講者アンケートより

具体例やグループワークを用いての演習は非常に説得力がありました。

スピーチを録画し、再生しながら先生よりいただいた個別アドバイスが特に参考になりました。ビデオレッスンは中々受けられないですし、本などで読んで実践するだけでは絶対わからない内容でした。

③ Advanced COSA

1. 企業の研究開発の実際を知ろう!
2. 企業人の研究開発人生を知ろう!
3. 企業で活躍する先輩達と話そう!



企業研究開発の第一線で活躍されている研究所長や研究部長クラスの方を主な講師としてお招きし、大学の中では触れることの少ない企業研究の実際やその魅力、研究マネジメントや博士の活躍ぶりなどを事例も交えて紹介します。また、若手企業人の北大博士先輩もお呼びして年齢の近い企業研究者のお話しも盛り込みます。2日間の集中講義です。

1. 大学院共通授業科目
「理系・科学技術系大学院生のステップアップキャリア形成I、II」
—Advanced COSA(1)、(2)—(各1単位)
2. 生命科学院 生命科学専攻 大学院(博士)専門科目(研究指導科目を含む)
「理系・科学技術系大学院生のステップアップキャリア形成I、II」
(各1単位)
3. 水産科学院修士課程学院共通科目
「ステップアップキャリア形成I、II」(各1単位)

H30年度開催予定

Advanced COSA(1):平成30年7月下旬(予定)

Advanced COSA(2):平成30年11月下旬(予定)

スケジュール

(1日目)

- ・ガイダンス(30分)
- ・企業講師①講演(120分)
- ・昼休み(60分)
- ・質疑応答(60分)
- ・企業講師②講演(120分)
- ・質疑応答(60分)
- ・懇親会(90分)

(2日目)

- ・企業講師③講演(120分)
- ・質疑応答(60分)
- ・昼休み(60分)
- ・企業講師④講演(60分)
- ・質疑応答(30分)
- ・総括討論、まとめ(30分)

※詳細はシラバスをご覧ください

これまでの講演企業

(敬称略、五十音順)

■IHI	■旭化成ケミカルズ
■味の素	■アステラス製薬
■イーザイ	■応用地質
■大塚製薬	■花王
■カネカ	■キューピー
■神戸製鋼所	■コーセー
■サッポロビール	■サントリー HD
■JSR	■JNC
■シスメックス	■新日鐵住金
■酔鯨酒造	■住友化学
■住友金属鉱山	■住友林業
■ソニー	■第一三共
■中外製薬	■東急建設
■東レ	■日本IBM
■日本たばこ産業	■日本電気
■日本電産	■日本電信電話
■ノバルティスファーマ	■パナソニック
■ボッシュ	■丸紅
■ヤンマー	■ライオン

平成29年度実施状況



キューピー・和田講師



IHI・久保田講師



JNC・宮澤講師



アステラス製薬・齋藤講師



第一三共・大槻講師



シスメックス・吉田講師



サントリーウエルネス・柴田講師



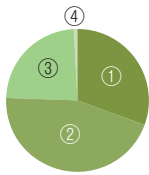
ライオン・関根講師

平成29年度受講者アンケートより

質問1:企業での研究開発に魅力を感じたか?

- ①大変魅力を感じた
- ②ある程度魅力を感じた
- ③どちらでもない
- ④感じられなかった

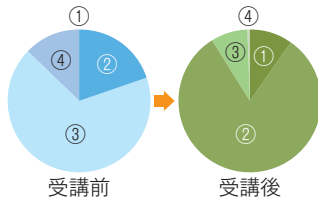
①②の肯定的な感想が89%



質問2:講義を聴く前後での企業研究の理解度の変化

- ①よく理解している
- ②ある程度理解している
- ③よく理解していない
- ④全く理解していない

①②のある程度以上理解の比率が20%→91%



■受講生より■

- 年齢の近い働き始めの方のお話しが聞けて、とてもためになった。企業では、少ない時間で業績を上げることが重要であるということを知り、今後の研究生活で意識していきたいです。
- 研究に携わっている方のご講演によって、企業での研究開発についての理解をさらに深める機会となりました。質疑・論議の場面では、学生とのディスカッションにより企業側の率直なご意見や私と同じ立場の学生がどのようなことを考えているかを知ることができました。
- 自分が理解していなかった業界を知り、興味を持つことが出来た。また、自分の甘さを若手研究者の演者さんの経歴から自覚できたのでこれから自分が行うべき努力の方向性を見直せた。

先輩からひとこと

齋藤 明日香

アステラス製薬株式会社
 研究本部キャンディデートディスカバリー研究所
 H28年3月 北海道大学 大学院
 医学研究科 博士後期過程 修了



■経歴と就職活動、入社後の仕事内容について

「自分の好きなこと興味あることをやってみる」ことが自分の軸であり、進路を決める上での判断基準にもなっていました。私は北海道大学獣医学部に在学した後、博士課程では北海道大学医学研究科皮膚科学教室にて皮膚の分化や皮膚疾患におけるミトコンドリアの役割について研究を行いました。博士号取得後の進路に悩んでいた頃、先輩からの勧めもあって人材育成本部が主催する授業やイベントに参加しました。様々な企業の方々と直接交流できる場である赤い糸会やAdvanced COSAに出席したことがきっかけで、企業でも、専門性を活かし、興味ある分野の研究ができることを知りました。製薬会社や化粧品会社を中心に就職活動を行い、現在はアステラス製薬の研究者として勤務しています。

入社後は、患者さんに効果のある新薬をつくるため、社内で作られた「薬の種」を細胞や病態モデルなどあらゆる方法を用いて、薬としての効果を確認する研究を行っています。企業における研究では、大学院時代に研究していたミトコンドリア関連の知識を活かせるだけではなく、未経験の分野の研究にも携わらせてもらっています。入社後も興味ある研究に取り組むことができ、日々楽しみながら仕事しています。

■博士課程在学中の皆さんへ

博士号取得までの過程で培ってきた「サイエンス」の力は、実験だけではなく、企業での研究において大事な判断を下す際にも必要だと考えています。博士課程在学時には、インバウトファクターの高い論文は残念ながら出せていませんが、研究テーマの仮説立てから、実験による仮説の証明、考察といった研究者として立ち回るための経験を積み重ねたことは自分の財産になっています。

また、新人にも関わらず、海外共同研究先との会議に出席して英語でプレゼンする機会を得たことは、博士号を取得していたからだと考えています。欧米では博士号がないと研究者として認められない風潮であることをご存じの方も多いかと思いますが、グローバル化が進む中、日本の企業でも海外との取引が多い仕事では博士号が重要視されつつあります。皆さんには、「サイエンス」の力を磨くことはもちろん、博士号を取得することによって様々な可能性が開けるというポジティブな面もあることを知って、自分の望むキャリアを選択できるようになって欲しいと願っています。

Advanced COSA に参加して

中川 淳史

北海道大学 大学院
 総合化学院 総合化学専攻 (DC3)
 H30年3月修了予定
 → JSR 株式会社内定



例えば研究職を志したとして、現実としてどのような研究者に「なりたいのか」、「なれるのか」を考える時期は必ずやって来ます。研究室内に閉じこもっていると、就職活動直前まで先送りにした挙句、身近な人の例やインターネット上の膨大な情報等に翻弄されてしまうのではないかと疑問に感じていました。早い段階で行動し、自分なりの判断基準を模索するために、博士課程1年の時にA-COSAを活用しました。

A-COSAでは、若手から研究所長クラスまで幅広い世代の企業研究者から、企業研究の実際、大学における研究との差異、自らの経験談およびキャリアについてのお話を聞くことができます。質問時間も十分に設定されており、特に博士課程の学生は積極的に質問することを推奨されます。漫然と参加するのではなく、説明ひとつひとつに「なぜ?」と考えを巡らせることは重要で、そこから始まる議論は非常に有用でした。大学と企業の研究が完全にマッチすることは難しい状況の中で、「どのような場面でのどのような能力が求められるのか」といった研究職としての活躍の仕方や、昨今重要視されている「コミュニケーション能力」の企業側の視点など込み入った質問まで多くの意見を聞くことができます。こういった意見は様々な世代、業種の企業の方と関わることで、共通項と差異が見えてきます。また、ご登壇された方々との懇親会も用意されており、講義の中で見えてきた自分なりの価値基準を試し、裏話も聞くことができる絶好の機会となっております。

漠然と研究職に憧れているというような学生の皆さんも、来たる時期に意思決定するための足がかりとして、気軽な気持ちでAdvanced COSAに参加してみてもどうでしょうか。時間を割いて参加する以上、何か自分にとって有意義なものを見つけようという意思があれば、きっとよき未来に繋がるのではと思います。

最後になりましたが、多くの有意義な機会を工夫を凝らして提供し、何事も親切に対応してくださった人材育成本部の皆様には心より感謝申し上げます。

Advanced COLA

MC・DC・PD

人文・社会科学系大学院(博士課程)を修了後、アカデミアではなく産業界にその活躍の場を見出された企業人の方をお招きし、大学の中ではなかなか知ることのできない企業活動の実態やその魅力を語っていただくとともに、人文/社会科学系の学位の意義についても論議します。

平成29年度実施状況



代々木アニメーション学院 深水講師



北海道テレビ放送(HTB) 橋谷講師



日本電産 江角講師

平成29年度受講者アンケートより

博士修了後の就職に至るまでの経緯や機会まで具体的な事例として自分の現状と比較できる材料になった。

現在大学院へ進学するかどうかが悩んでいるため、どのような観点で進学を考えたらよいのか、また進学後も自らのキャリア形成を意識しながら研究活動を進めるべきであることがわかった。

④ キャリアパス多様化支援セミナー

1. 試験管を振る以外の理工系人生!
2. これからは交渉力が無いとダメ!
3. 自分のアイデアやスキルで起業!



キャリア形成に必要な情報の提供や能力の開発とともに、企業におけるプロジェクト推進の実際や、大学院生が大学内では得ることが難しい多様なキャリアの実際情報を、既にそのキャリアを獲得した社会人を招いて講義をしていただく内容です。具体的には研究者と最もかかわりの深い知的財産権を扱う仕事、これからますます必要になる交渉学、さらには自身で起業するアントレプレナーシップなどについて、テーマを絞って講演いただきます。

1. 大学院共通授業科目
「博士研究者のキャリア開発研究—赤い糸会&緑の会—」(1単位)
2. 生命科学院 生命科学専攻 大学院(博士)専門科目(研究指導科目を含む)
「博士研究者のキャリア開発研究」(1単位)

後期に開催される年間3~4回の赤い糸会のうち1回、ならびに各赤い糸会に付随するプレゼンテーション演習1回を受講、さらに年間3回以上開催のキャリアパス多様化支援セミナーか年間1回開催の企業事業所視察のうち少なくとも1回参加が単位取得の必須要件です。

※詳細はシラバスをご覧ください(単位に関してはDC限定)

H30年度実施予定

I(知的財産権):平成30年6月(予定)

企業での研究開発成果は知的財産権で保護する必要があります。そのためには技術を熟知し、論理的思考能力を発揮できる人材が必要になります。企業の知財活動の実際を学び、自身の可能性を探求します。

II(プロジェクトファシリテーション):平成30年7月(予定)

会議運営の課題を共有し、ファシリテーションによる効率的かつ効果的な会議運営術を学びます。ファシリテーションとは、グループ活動が円滑に行われるように、中立的な立場から支援を行うこと、またそのための技術のことを指します。

III(交渉学):平成30年7月(予定)

交渉学を学習するために作成されたケースを用い、交渉の事前準備と交渉シナリオ作成、ロールシミュレーション(模擬交渉)の実施と交渉結果のフィードバックを通じて交渉学の基礎を実践的に学びます。

IV以降は講師の予定を調整し実施する可能性あり。

これまでの講演企業

(敬称略、五十音順)

IT教育研究所	アカリク
内田・鮫島法律事務所	AgIC
王子HD	オリジナルペット
金沢工業大学	カブク
神戸製鋼所	サントリー HD
ジーンクエスト	シスメックス
積水化学工業	セルバンク
大日本印刷	東京富士大学
日本電気	ノエビア
パナソニックIPマネジメント	ビザスク
日立製作所	ブルックス
ペビログ	メタジェン
メルティンMMI	リバネス

平成29年度実施状況

I 知的財産権



日立製作所・前田講師

セルバンク・前田講師

内田・鮫島法律事務所・鮫島講師

平成29年度受講者アンケートより

知的財産権が実際にはどういう意味を持っているのか、概要を知ることが出来てよかった。日本がこれから発展していくためには欠かすことの出来ない考え方だと思った。



パネルディスカッション

II 交渉学



東京富士大学・隅田講師

グループワーク1

グループワーク2

平成29年度受講者アンケートより

単なる戦術でない交渉力の重要性を改めて実感するとともに、今後に生かせる点が多々あった。



意見交換

交渉のポイントを理解することができた。力不足を実感。

知財関係の仕事を目指す人だけでなく、研究者にも必要なお話で非常に有意義でした。

交渉学の基本について学ぶことが出来、自分の傾向について考える機会となった。

Ⅲ キャリア創成



ベビログ・板羽講師



オリジナルペット・江波講師



メルティンMMI・粕谷講師

平成29年度受講者アンケートより

研究者の生活とは異なるライフスタイルを示してくれたこと。人とのつながりが重要であることをあらためて認識させられた。

最先端技術ならではのベンチャーの研究とビジネスが知れてよかった。

⑦ J-window (進路相談)

DC・PD

1. 企業と博士の接点を構築します!
2. 博士専用進路(就職)相談窓口!
3. 担当はすべて民間企業出身教員!



主な就職先

(敬称略、五十音順)

■朝日新聞社	■あすか製薬	■大塚製薬	■カネカ	■協和発酵キリン
■クインタイルズ・トランスナショナル・ジャパン	■クレハ	■ケミクレア	■神戸製鋼所	■JSR
■JNC	■塩野義製薬	■昭和電工	■信越化学工業	■住化エンバイロメンタルサイエンス
■住友化学	■積水化学工業	■第一三共	■ダイセル	■大日本住友製薬
■チトセ浜理薬品	■中外製薬	■データフォーシーズ	■デンソー	■同仁医薬化工
■東ソー	■とめ研究所	■日東電工	■ニプロ	■日本たばこ産業
■ノバルティスファーマ	■日立製作所	■プライムリンク	■プリチストン	■古河電気工業
■ボッシュ	■マルハニチロ	■みずほ第一フィナンシャルテクノロジー	■三菱ケミカル	■三菱電機
■明電舎	■メタジェン	■ヤンマー	■ライオン	■WDBエウレカ

『J-window を活用して』

小倉 麻梨子

北海道大学 大学院
総合化学院 総合化学専攻 (DC3)
H30年3月修了予定
→株式会社ダイセル内定



J-windowでは、博士号や民間企業の経験をもった先生方にエントリーシート(ES)添削や面接練習をしていただくことができます。私は必ず志望企業ごとにES添削と面接練習を行っていました。企業が求める博士像に詳しい先生方から、最新の博士人材の採用動向を交えたアドバイスを頂き、実践練習を行うことができたため、ES・面接は9割近く通過するようになりました。しかし、なぜか内定がもらえない…。話していてもしっくりこない部分がある…。J-windowでは、個別相談もしていただけるため、志望企業の方向性について相談したところ「この企業もあっているのでは?」と紹介していただくことができました。自分の専門分野からでは注目していなかった企業で、自分にできることがイメージしにくかったのですが、人脈の広いJ-windowの先生方のおかげで、その企業の研究者やOBOGと話す機会を作っていただくことができました。自分がやってきたこと、興味があることを企業の人に直接話すうちに、HPや説明会では得られない「私の能力が活かせるような仕事・研究内容」を知ることができました。企業でやりたいことが具体的にになったことから志望度が格段にあがり、説得力のある自己PRと型にはまっていない私だけの志望動機が自然に話せるようになったため、私の専門分野と近い今の企業に内定を頂くことができたと思います。

これから就職活動を行うみなさん、ぜひ、J-windowを活用してみてください。自分の可能性を狭めず広くチャレンジすることができ、自分一人では見つけづらい意外な企業に出会うことができるかもしれません。最後になりましたが、研究と就職活動にはさまれ、不安な日々を過ごした中、事務の方々の暖かい笑顔に迎えられ、人材育成本部の先生方にどんなときも丁寧に相談にのっていただき、内定獲得まで一緒に走っていたこと、とても心強く、支えられておりました。本当にありがとうございました。

『J-window を活用して』

杉内 瑞穂

北海道大学 大学院
環境科学院 環境物質科学専攻 (DC3)
H30年3月修了予定
→住友化学株式会社内定



J-windowとは、民間企業で採用経験を持つ先生方が就職活動の相談、エントリーシートの添削および面接対策などをしていただける博士専用の総合相談窓口のことです。

博士課程の採用に関しては学部・修士課程とは異なるプロセスであるため、採用動向を知るか知らないかで周りの就活生と大きな差が生じます。私はこれまでに就職活動の経験はなく手探り状態の中、企業と博士の接点を構築するJ-windowの存在を知りました。J-windowを利用すると人材育成本部から就職活動に役立つ様々なイベントを紹介していただけます。私は、このような就職活動を支援するイベントの中でも赤い糸会(企業との交流会)に参加し、志望企業の採用日程や業界について知ることができました。また、博士の学位取得を考慮すると研究と就職活動を並行して進めていく必要があり、効率よく行動しなければなりません。そのためには就職活動の方向性をいち早く決めることも重要になってきます。もし仮に自分に合った企業や業種に関して方向性で悩むことがあれば、人材育成本部の先生に相談してみてください。先生方は民間企業出身者であり博士人材の採用について熟知されている方ばかりなので相談するとスッキリできると思います。私自身も就職活動で悩んだ時期があった際に相談に乗って頂きました。一人で悩んでいてもあまり良い事はないので悩んだ際にはJ-windowを活用して就職の相談をしてみてください。

さらにJ-windowでは就職活動の相談以外にもエントリーシートの添削や面接練習などの対策もできます。私はこれらを利用していなかったのですが、今更ながらもっと活用すればより円滑に就職活動を進めていたのではないかと少し後悔しています。

今後、就職活動を行われる博士課程の皆さんには是非とも余す事なくJ-windowを活用して頂きたいと思います。

最後に、樋口先生をはじめとした人材育成本部の先生方、スタッフの皆様には多大なるご支援を頂きました。この場を借りて御礼申し上げます。

⑧ 赤い糸会&緑の会

DC・PD



1. 博士に対する企業の期待を聞く!
2. 博士の力を企業にアピールする!
3. この場限りの濃密なマッチング!

企業約16~8社、若手博士研究者(DC,PD)約40~50名が一堂に会し、Face to Face の直接的な情報交換を行います。参加企業は自社の新事業、新規研究テーマ、博士人材への思いなどメッセージをショートトーク等により若手博士研究者へ発信し、若手博士研究者も自らの人となりや研究スキルをポスターで発表、企業担当者にアピール、密度の高いマッチングを狙います。ここからインターンシップや実際の就職につながった例は数知れません。

1. 大学院共通授業科目
「博士研究者のキャリア開発研究—赤い糸会&緑の会—」(1単位)
2. 生命科学院 生命科学専攻 大学院(博士)
専門科目(研究指導科目を含む)
「博士研究者のキャリア開発研究」(1単位)

後期に開催される年間3~4回の赤い糸会のうち1回、ならびに各赤い糸会に付随するプレゼンテーション演習1回を受講、さらに年間3回以上開催のキャリアパス多様化支援セミナーか年間1回開催の企業事業所視察のうち少なくとも1回参加が単位取得の必須要件です。

※詳細はシラバスをご覧ください

H30年度実施予定

- 第35回:平成30年9月(予定)
- 第36回:平成30年10月(予定)
- 第37回:平成30年11月下旬(予定)
- 第38回:平成31年2月上旬(予定)

スケジュール

- ・主旨説明(20分)
- ・企業講演(100分)
- ・昼休み(60分)
- ・企業講演(60分)
- ・若手研究者のポスター発表(110分)
- ・企業との個別交流(120分)
- ・情報交換交流会(90分)

これまでの講演企業

(敬称略、五十音順)

■IHI	■旭化成	■アステラス製薬
■アマゾンウェブサービス	■アミノアップ化学	■大塚製薬
■花王	■カネカ	■キューピー
■京セラ	■協和発酵キリン	■クレハ
■神戸製鋼所	■コーセー	■サッポロビール
■サントリー HD	■シーメンス	■JSR
■JNC	■塩野義製薬	■シスメックス
■資生堂	■島津製作所	■新日鐵住金
■住友化学	■住友金属鉱山	■住友電気工業
■ソニー	■ソフトバンク	■第一三共
■ダイセル	■大日本住友製薬	■大和ハウス工業
■田辺三菱製薬	■中外製薬	■帝人
■データフォーシーズ	■テルモ	■東急建設
■東芝	■東レ	■とめ研究所
■日本IBM	■日本水産	■日本たばこ産業
■日本電気	■日本電産	■日本電信電話
■ノバルティスファーマ	■パナソニック	■パナソニックヘルスケア
■富士通研究所	■プリヂストン	■北海道システム・サイエンス
■ポッシュ	■マルハニチロ	■みずほ第一フィナンシャルテクノロジー
■三菱ケミカル	■三菱電機	■ヤフー
■ヤンマー	■ライオン	■リコー
■レノバ		

平成29年度実施状況



本部長挨拶



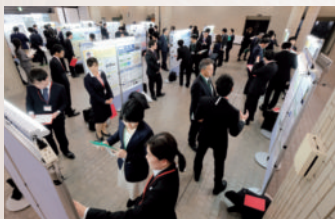
主旨説明



企業講演



企業講演



ポスター発表



ポスター発表



個別交流



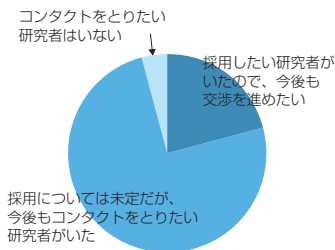
情報交換交流会

過去3回のアンケート結果

企業:49社・112名、研究者:150名

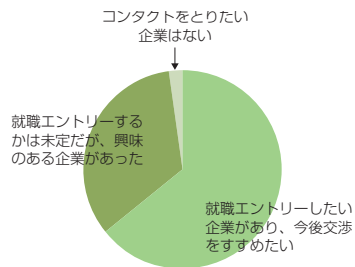
企業から見たDC-PD

コンタクトを取りたい:96%



DC-PDから見た企業

エントリーも考える:98%



■DC、PDより■

- 非常に密に企業の方と関わられるのは大きなメリットだと感じた。自分の専門が企業でどう活かせるのかと知る良い機会だと思う。
- 普段交流することができないような異分野の企業と交流できるのが楽しかったです。
- 興味のある企業と情報交換出来て進路決定の参考になりました。

■企業担当者より■

- 博士と企業が研究や仕事を軸に、深く交流ができる素晴らしい機会です。回を重ねることによりパワーアップされ、毎年楽しみにしています。
- 良い人材との出会いの場として有効活用させていただいてます。
- 活発な対話が出来非常に有意義であった。

OGとして赤い糸会に参加して 小境 夕紀

大塚製薬株式会社
先端創薬研究所探索研究部
H27年3月 北海道大学 大学院
総合化学院 博士後期過程 修了



「将来は海外にいて、研究所のボスになる」とぼんやりしたサクセスストーリーを描いていた私が、なぜアカデミアではなく企業への就職を希望したのか。この寄稿を書くに当たり、よく思い出してみると、キッカケは学術振興会特別研究(DC1)の不採択通知だったと思います。サイエンスでビッグになるには学振くらい採用されないと、と当時謎の固定概念に囚われていた私は「向いてないのか?」「そもそもなぜ研究所で働きたいのだけ」と描く将来像を真剣に考え始めました。そして、たどり着いた答えは、「これ私が発見したの。このおかげで何千万人も幸せになったの。」と自慢したい!という素直な気持ちでした。すると、今まで考えていなかった企業就職が選択肢の一つになり、就職活動を開始することになりました。

しかしながら、就職活動、いったい何からスタートしたらいいのか。何千社とある企業の中から自分が行きたい会社、自分を必要とする会社はどう選ぶのか。そうこうしていると、担当教授から「赤い糸会」があるよと提案。「赤い糸会」強烈なネーミングもさることながら、集まる企業数と会の内容の濃さにとても驚き、すぐに参加を決意。学会馴れしていた私は、少々調子に乗って参加。と思ったのもつかの間、ポスター発表では、今までとは角度の異なる質問が相次ぎ、撃沈。優しさ溢れる企業の方々でしたが、楽しむ余裕もなく終了してしまいました。二回目では、失敗をバネにポスターを大幅改善、化学の知識のない母親に質問してもらい何度も練習を行い、参加。そのおかげか、多少は余裕をもって取り組むことができ、会自体を楽しむことが出来ました。

赤い糸会は、その名の通り企業と学生の赤い糸を見つける会です。興味がないな、自分とは関係ないなと決めつけてかかるのではなく(相手にもすぐに分かりますよ笑)、いろんな分野の方と交流して頂ければと思います。思わぬ発見や出会いがきっとあるはず。皆様が悔いのない就職活動を行い、いい「赤い糸」を見つけれられることを心より期待しております。

赤い糸会に参加して 本館 利佳

北海道大学 大学院
生命科学院 生命科学専攻 (DC3)
H30年3月修了予定
→大日本住友製薬株式会社内定



私は博士課程2年次に3回赤い糸会に参加しました。就職活動を終えた今、赤い糸会に参加して本当に良かったと思っています。

赤い糸会の一番の特徴は学生や研究者と企業の方々でFace to Faceで交流できる点です。一般的な企業説明会では自分の研究を企業の方にアピールする機会はなく、実際の面接選考の前に企業の方から自身の研究に対するフィードバックをいただける機会はとても貴重です。また、企業の雰囲気や考え方を肌で感じられることも大きな魅力だと思います。実際にお話することでホームページやパンフレットでは感じきれない、その企業の魅力を知ることができました。

赤い糸会では様々な業種の方と接することができます。異分野の企業の方との交流は新しいプロジェクトとの思いがけないマッチングにつながるだけでなく、自分自身の「やりたいこと」を見つめ直すきっかけにもなります。近年、「異分野の融合」というのがどの企業、業種でも大切にされています。自分たちの専門を生かして新しい分野を開拓する。これは就職活動生個人においても大切な視点だと思います。専門とは異なる企業の方のお話を聞いて面白いと思ったことを自分の専門とつなげることはできないか、どんな仕事をしていきたいのか。そういう視点を得ることができたのも赤い糸会のおかげです。

私は赤い糸会での出会いをきっかけに第一志望の会社から内定をいただくことができました。内定先の企業と出会ったことももちろんですが、様々な背景をもつ企業の方のお話を聞いて自分自身の考えを深められたこと、自分の強みやその強みの見せ方を考えられたこと、すべての経験が就職活動の礎となった結果だと感じています。就職を考えている博士のみなさんにはぜひ赤い糸会を有効に活用して充実した就職活動を送ってほしいと思います。

最後になりましたが、樋口先生をはじめ人材育成本部のみなさまには多くの御支援ならびに御助言を賜りました。この場をお借りして御礼申し上げます。

プレゼンテーション演習

「赤い糸会」に参加する若手研究者は学会で専門家を相手に自身の研究内容を発表することには慣れていますが、ここに参加する企業の担当者は研究内容に関しては素人である場合が多いです。そのような相手に対し、専門性の高い内容をそのままぶつけても理解されません。本プログラムでは一般の人々に如何に自身のスキルや人間性を伝えるかを修得します。

平成30年度開催予定

- 第1回:平成30年9月上旬
- 第2回:平成30年10月中旬
- 第3回:平成30年11月中旬
- 第4回:平成31年1月中旬

講義内容

- 1.赤い糸会緑の会について3つのセッション
 - 2.ポスター発表について自己アピールに必要な3要素
 - 3.ポスター作成例についてタイトル,自己PR,研究報告
 - 4.コミュニケーションについて挨拶,プレゼンの極意
 - 5.赤い糸会緑の会参加要領まとめ
- 名刺,ポスター,積極姿勢



ポスター発表練習



講義

⑨ 企業事業所視察

DC・PD・(MC)



1. 実際に企業活動の現場を見よう!
2. 企業で活動する先輩と意見交換!
3. 自身が活躍するイメージを構築!

「赤い糸会」での若手博士研究者と企業とのマッチングのさらなる推進を目的として、企業の事業所を実際に訪問し、研究開発現場を実感するとともに、そこで働く企業研究者との交流から、自身のキャリアパスの多様性を感じ取り、人生を設計する一助とします。

1. 大学院共通授業科目
「博士研究者のキャリア開発研究—赤い糸会&緑の会—」
(1単位)
2. 生命科学院 生命科学専攻 大学院(博士)
専門科目(研究指導科目を含む)
「博士研究者のキャリア開発研究」(1単位)

後期に開催される年間3~4回の赤い糸会のうち1回、ならびに各赤い糸会に付随するプレゼンテーション演習1回を受講、さらに年間3回以上開催のキャリアパス多様化支援セミナーか年間1回開催の企業事業所視察のうち少なくとも1回参加が単位取得の必須要件です。

※詳細はシラバスをご覧ください
(単位に関してはDC限定)

平成30年度実施予定

平成31年2月上旬(第38回赤い糸会の翌日)



これまでの訪問企業

(敬称略、五十音順)

■IHI	■味の素	■出光興産
■王子製紙	■オエノンHD	■花王
■カネカ	■キューピー	■キリン
■クボタ	■サントリー HD	■塩野義製薬
■島津製作所	■新日鐵住金	■住友化学
■住友金属鉱山	■帝人	■東急建設
■東芝	■ニコン	■ニッカウヰスキー
■日本IBM	■日本新薬	■日本たばこ産業
■日本電気	■日本電信電話	■パナソニック
■日立製作所	■富士ゼロックス	■ポッシュ
■三井化学	■三菱化学	■三菱電機
■ヤンマー	■ライオン	

平成29年度実施状況



ライオン



ライオン



ライオン



ライオン



日本IBM



日本IBM



日本IBM



日本IBM

平成29年度受講者アンケートより

初めての企業見学であったため企業にて働くことのイメージをしやすくなり、また働くことをイメージしたうえで選考に臨むことの重要性について感じる事ができた。

北大OBの方の話を聞くことで働くことについて明確にイメージすることができた。早く自身のスキルを上げて、社会のために働きたいという気持ちがより大きくなった。

企業の現場の生の声を聞くことができたほか、最先端の研究事情の理解につながった。

⑩ 産学シーズ／ニーズマッチング人材交流会

1. 実際に企業活動の現場を見よう!
2. 企業視線での自身のスキル評価!
3. 大学と企業で研究の差異を認識!



これも「赤い糸会」に参加し、企業との接点を構築した若手博士研究者を、ただ企業を訪問するだけではなく、実際に企業の研究者の前で自身の研究内容を発表し、企業研究の目線で見つめたコメントや指摘を得、意見交換をすることにより、具体的な産業界への出口のイメージを構築します。

平成30年度実施予定

- 第1回:平成30年10月(予定)
第2回:平成31年1月~2月(予定)

これまでの訪問企業

(敬称略、五十音順)

■IHI	■旭化成	■大塚製薬
■カネカ	■神戸製鋼所	■サントリー HD
■秀和特許事務所	■住友化学	■ダイセル
■大日本住友製薬	■田辺三菱製薬	■特許庁
■日本電気	■パナソニック	■三菱電機
■三菱レイヨン	■ヤンマー	

平成29年度実施状況



大日本住友製薬



大塚製薬



住友化学



三菱電機



ダイセル



ダイセル・研究発表



IHI



IHI・研究発表

産学シーズ／ニーズマッチング
人材交流会に参加して
三浦 尚也

北海道大学 大学院
生命科学院 生命科学専攻 (DC3)
H30年3月修了予定
→中外製薬株式会社



私はS-cubic主催の産学シーズ／ニーズマッチング人材交流会に参加し、田辺三菱製薬 横浜事業所と大塚製薬徳島研究所を見学させて頂きました。田辺三菱製薬では、有機合成スペース等の研究所内の設備や研究室を見学させて頂きました。研究所の設備は大学では中々お目にかかれないような潤沢なものであり圧倒されました。また研究員の交流を促進するため、研究室間を行き来しやすくする建物の設計となっており、社交性の高い企業風土を感じました。大塚製薬では製剤研究所の各研究室や能力開発研究所を見学させて頂きました。研究所の設備の充実具合も当然ながら、能力開発研究所の「巨大なトマトの木」に驚きを隠せませんでした。今まで世界に無かった製品を、先入観を打破しながら創出していく大塚製薬の理念を感じました。

また、それぞれの企業の研究員の皆様に対する、自身の研究プレゼンとはとても有意義な経験でした。今まさに創薬の最前線で研究をされている方々とのディスカッションは、いつもの研究室でのそれとは違い、いかにして創薬に結び付けるかという方向性を強く感じました。この視点は、その後の就活においても重要なものであり、本交流会での経験がまさに生きたのではないかと思います。研究プレゼンは学生全員がおこない、自分以外の研究プレゼンにおいても企業研究者の視点をじっくりと経験できた、非常に濃密な時間でした。その後の懇談会では研究内容のみならず、日々の仕事の進め方など、外では中々手に入らない生きた情報をお聞きする事もできました。

恥ずかしながら本交流会に参加するまでは、企業での研究活動に対して漠然とした認識しかありませんでしたが、企業研究員の方々と直接お話ししたり、研究所を見せて頂く事で、明確なビジョンを持って就活に臨むことが出来ました。企業への就活をされる方々には是非参加して頂きたいプログラムでした。

最後になりましたが、本交流会の開催にご尽力頂き、様々なご指導とご支援を賜りました、樋口先生ならびにS-cubicの皆様へ深く感謝申し上げます。

⑪ 博士力実践インターンシップ

DC・PD



1. 実際に企業活動を体験してみる!
2. 自身が企業に向いているか判断!
3. 企業ならではの新しい視点獲得!

国内外の先進企業(グローバル企業・ベンチャー企業・オンリーワン企業)や公的機関、大学も含めたインターンシッププログラムです。企業における研究開発等の実体験を通して、多様な社会での活躍方法を体得する機会です。平成21年度から平成25年度までの5年間、人材育成本部(HoP-Station)で本事業を推進してきましたが、63名の北大のDC・PDが38社の企業でインターンシップを経験し、その中でマッチングの成立した80%の人が民間企業への就職を果たし活躍しています。本事業は平成26年度より人材育成本部(S-cubic)が担当しています。

全ての経費ではありませんが、旅費、滞在費などの一部を支援する仕組みもあります。希望する企業との接点づくりから支援します。是非この機会に応募されませんか?

平成29年度実施状況

院生	インターンシップ先	所在地	期間	
情報	DC2	電気機器	神奈川県	7週間
総合化学	DC2	国立研究開発法人	東京都	1か月
工学	PD	電気機器	神奈川県	3か月
工学	DC2	非鉄金属	兵庫県	7週間
環境科学	DC2	海外大学	オーストラリア	8週間
工学	DC2	海外大学	イタリア	7週間
生命	DC2	化学	兵庫県	1か月
獣医	DC2	精密機器	京都府	5週間
農学	DC2	建設業	神奈川県/茨城県	1か月

インターンシップ概要

対象者	北海道大学に所属する博士後期課程院生、博士学位取得後5年以内の者(パーマネント職員を除く)
人数	12名
受入企業	国内外の企業
期間	1~3か月程度
条件	学生教育研究災害傷害保険、学研災付帯賠償責任保険(インターンシップ保障)に加入すること。その他詳細条件は受入企業によって異なる。

受入企業からの声

企業が博士に期待するもの

- 競争を勝ち抜く強い意思
- グローバルな視点と統合力
- 自ら課題を発見し、その解決策を生み出す力
- 市場のニーズを敏感に感じ取る知性と感性
- 基盤となる学術の確実な理解と、常に自ら学ぼうとする強い意欲に裏打ちされた異分野技術者とのコミュニケーション能力とフレキシビリティ

企業にとってのインターンシップの意義

- 大学との関係構築、協力関係の深化
- 優秀な人材の確保、発掘
- 新技術、新テーマの導入促進効果
- 職場の活性化
- 企業のPR

大学院博士課程で伸ばしておくべき能力

- 習った知識を駆使して問題を設定し、解決していく能力
- 複雑な課題を整理する能力
- 倫理的に考える能力
- アイデアを創造していく能力
- 異分野技術者とのコミュニケーション能力
- 文章での確に情報を伝える能力
- 社会に対する幅広い関心

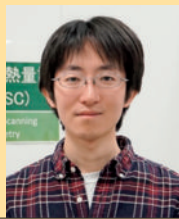
インターンシップに行くまでの流れ



アミノアップ化学	アルファ水工コンサルタンツ	医学生物学研究所	カネカ
クラシエ製薬	栗山町農業振興公社	KDDI研究所	高研
神戸製鋼所	国立研究開発法人 産業技術総合研究所	サントリー HD	JFEエンジニアリング
JAきたみらい	JNC	塩野義製薬	島津製作所
新日鐵住金	住友電気工業	セラバリュース	ダイナックス
帝人	データフォーシース	東急建設	東芝
東レ	日生バイオ	ニッピ	日本IBM
日本アレフ	日本データサービス	日本電気	パナソニック
阪大微生物病研究会	ピアメカニクス	日立製作所	富士通研究所
北海道システム・サイエンス	マルハニチロ	みずほ第一フィナンシャルテクノロジー	三井化学
三菱電機米国研究所	ヤンマー	リコー	リバネス
Alberta University	Bejo Seeds	Duke University	New South Wales University
Dupont Pioneer	NemGenix	Sapienza - Università di Roma	Starfighters

インターンシップに参加して 飯田 良

北海道大学 大学院
総合化学院 総合化学専攻 (DC3)
H30年3月修了予定
→ JNC 株式会社社内



企業か、アカデミックか、お悩みの方も多いでしょう。当時博士2年だった私も悩んでいました。しかし、企業のことを知らずに悩んでも埒が明きません。企業の研究開発の在り方を知り、進路を明確化するため、私はインターンシップ参加を決意しました。ある程度腰を据えて研究開発に携わりたいと考えたため、1ヶ月の長期インターンを提供している化学系企業のJNC株式会社のお世話になることにしました。(体験してみて2週間では短く感じました)

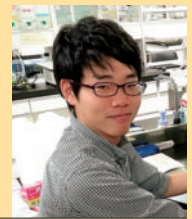
結論から申し上げますと、企業と大学の研究開発の違いは顧客の存在にあると感じました。『当然だ』と言われそうですし、私も参加前から耳にしていたことです。しかし、百聞は一見に如かずで、言葉で聞く以上の大きな違いを体感しました。企業ではコスト・納期機能などを考慮しながら、迅速に顧客の要求を満たす必要があるため、顧客が何を求めているのか、という議論が社内でも繰り広げられていました。基礎的な検討がメインだった私の研修でさえ、議論は常に顧客目線でした。先輩社員から『ビジネスマンになれ』と言われたことは強く印象に残っています。新たな知の創造が主目的である大学の研究とは異なる視点に戸惑う一方、人の役に立つ商品を追求する企業の研究開発はとても魅力的に感じられました。

また、研修中、私は課題を見つけ解決策を提案することが求められました。そのような中で、大学と企業で視点の違いはあるものの、博士課程で培った論理的思考や素早く仮説を立てる能力は企業でも活用できると分かりました。修士の学生や短期のインターンの場合は指示をこなすだけになってしまうことも多いようです。高い要求でしたが、博士課程の学生への期待を窺い知ることでもできました。

企業の研究開発の面白さを知った私は、結果として、お世話になったJNC株式会社から内定を頂戴しました。下手に悩むより行動。インターンは企業を知り、視野を広げる貴重な機会になりました。皆様も悔いのない選択が出来るよう、心からお祈りしています。

インターンシップに参加して 笠井 信宏

北海道大学 大学院
総合化学院 総合化学専攻 (DC3)
H30年3月修了予定
→ ニプロ株式会社



私が博士課程に進学を決めたのは、就職後も長く研究に携わりたいことと海外とも関わることでできる仕事をしたいと考えたためです。そして、学位取得後には製薬メーカーなどで基礎研究を行い創薬に携わることで、多くの人の健康に携わることが出来ればと考えていました。また、進学するにあたりより多くの実験手法を習得したいと考えたため、これまでより基礎分野に近い研究室へと異動しました。しかし、異動した先で研究を進める中で、これまで考えていた製薬メーカーでの基礎研究では博士課程時代の基礎的な研究を活かすことは可能でも修士課程以前の経験は活かしづらいのではないかと感じるようになりました。このようなことから、実際の業務を体験できるインターンシップを通してどのような進路が私にとって良いのかを考えたいと思うようになりました。そのようなときに、総合電機機器メーカーのインターンシップに参加できることになりました。この機会を通して、これまで考えていた業界とは異なる業界について知ろうと思い参加を決めました。

インターンシップではバイオセンサー開発に関しての業務に携わりました。はじめは、バックグラウンドである細胞生物学とは少し分野が異なることに不安もありました。しかし、実際に業務を行うことで生物学の研究では少し分野が異なっても同じような機器を用いることや考察の方法などはかなりの部分で活かすことが可能だと分かりました。そして、これまで考えていたよりもより広い領域で自身の経験を活かした仕事があることを学ぶことが出来ました。また、機器メーカーでは機械や材料などの全く専門が異なる方と協力し合って仕事出来るので、研究を世に出す方法もその分多くあることも魅力的に感じました。

このような機会が本格的な就職活動前であったことで、これまで考えていなかった企業にも目を向けることができ納得のいく就職活動につながりました。先輩の皆様にも、是非ともこのような機会を有効活用して様々な可能性を検討されることをお勧めします。

博士インターンシップ体験報告会 MC・DC・PD

主に民間企業への中長期インターンシップ(1ヶ月~3ヶ月程度)を体験した現役博士や受け入れ企業の方々、送り出した指導教員による体験報告会です。

平成28年度受講者アンケートより

平成28年度実施状況



体験報告



受入企業



派遣教員

博士課程でのインターンシップについて、ほとんど考えてこなかったのが、知ることができた良い機会でした。これから前向きに考えてみようと思います。

具体的にインターンシップの活動内容を聞き、大変参考になりました。特に、異分野のインターンに参加した先輩たちの経験から、自分の研究につながる就職先をひろげるべきだと思いました。

外国人DC・PDのための

I-HoP

Graduate Career Development for International Students and Researchers

I-HoP は若手外国人研究者（博士後期課程、ポスドク）向けのキャリア形成支援を行っています。本学では、日本語を使わず英語のみで研究活動を行う外国人博士後期課程留学生、ポスドク研究者が増えています。そのような若手外国人研究者の中で、卒業後、ないしポスドク任期終了後も日本でキャリアを希望する人々に対し、I-HoP はキャリアカウンセリング、能力強化プログラム、産業界とのマッチング事業などを英語で提供しています。対面式のプライベートなキャリアカウンセリングは事前予約制で、英語ないし日本語で行います。無料の日本語Eラーニング、三ヶ月ごとに実施する日本語会話力検定（JSST）、ニュースレター、移転可能研究力強化セミナーやその他イベントへの参加登録、自身のPRシート公開による企業へのアピールなど…全てのI-HoPのサービスは、専用情報基盤 Hi-System (<https://www2.synfoster.hokudai.ac.jp/Hi-System>) に登録すると受けられます。

I-HoP (Hokudai International Human Resource Development Program)

I-HoP supports career development of young researchers (Doctor Course students and Postdocs) from abroad.

There are increasing number of international researchers who are studying only by using English at Hokkaido University. Some of them may seek for careers in Japan after their graduation or completion of their postdoctoral terms. I-HoP provides career consultation, skills enhancement programs and matching opportunities especially for the industrial careers. Private face-to-face career consultation for international researchers is conducted in English or in Japanese by making appointment in advance. Free Japanese e-learning, quarterly Japanese Standard Speaking Test, monthly newsletter, registration to a variety of Transferable Skills Seminars and other events, making contact with corporations by posting your PR sheet ... all I-HoP services can be accessible by registering to the Hi-System (<https://www2.synfoster.hokudai.ac.jp/Hi-System>), an exclusive information exchange platform.

連携型博士人材育成コンソーシアム

COFRe(大学間連携)

連携型博士研究人材総合育成システム イノベーション創出人材連携育成 プログラム

2014年10月に文部科学省に採択された、連携型博士研究人材総合育成システムの構築事業により、北海道大学が代表機関となり、東北大学・名古屋大学の3大学のコンソーシアムが発足しました。現在は大阪大学、お茶の水女子大学、横浜国立大学、兵庫県立大学とも連携し7大学に規模が拡大しています。本コンソーシアムでは各大学が独自に設計、推進している博士課程学生（DC）や博士研究員（PD）に対する洗練されたキャリアパス多様化支援プログラムのうち、相互に内容の補強、補完が期待できるものを選定し、どの大学からも参加できるようにすることで、コンソーシアム形成のメリットを最大限生かした一層効果的な人材育成プログラムを構築します。これにより、例えば本学の赤い糸会に他の6大学からも参加できますし、6大学が実施する様々なプログラムに北大から参加も可能となります。参加希望者はまずHi-Systemに登録し、エントリーして下さい。

イノベーション創出人材連携育成プログラム



人材育成本部におけるS-cubic活動の紹介

北海道大学 人材育成本部 上級人材育成ステーション
業務実施責任者
教授 伴戸 久徳



人材育成本部の S-cubic では、大学院学生 (MC・DC) や博士研究員 (PD) 等若手研究者に対し、多様なキャリアパスを開くための能力開発プログラムを提供しています。これは科学技術・知識に基づく高度な研究力を有する研究者が社会の多様な分野において責任ある立場で活躍するために必要なスキル (Transferable Skills) を提供するプログラムです。平成 18 年度に S-cubic としてスタートして以来、多くの企業や教員の方々のご協力を得、10 年間の試行錯誤と改良を重ね、「Advanced COSA」、「キャリアパス多様化支援セミナー」、「赤い糸会」等の厳選されたプログラムを開発・普及・定着に努力し、さらに「キャリアマネジメントセミナー (MOT 関連)」、「博士力実践インターンシップ」の新プログラムを軌道に乗せることができました。

平成 23 年度以降はこれら単独、あるいは組み合わせで 4 つの科目を大学院共通授業科目として単位化しました。これ以外にも、MC・DC・PD と企業の登録制 Web コミュニケーションシステム「Hi-System」、DC や PD 専用の進路相談窓口「J-window」等のサポート機能を充実させています。その結果、多くの企業の方々から、「ぜひ北大のプログラムから採用を検討したい」などの嬉しいコ

メントが寄せられており、これは 10 年間の S-cubic 活動の積み重ねの成果と考えています。

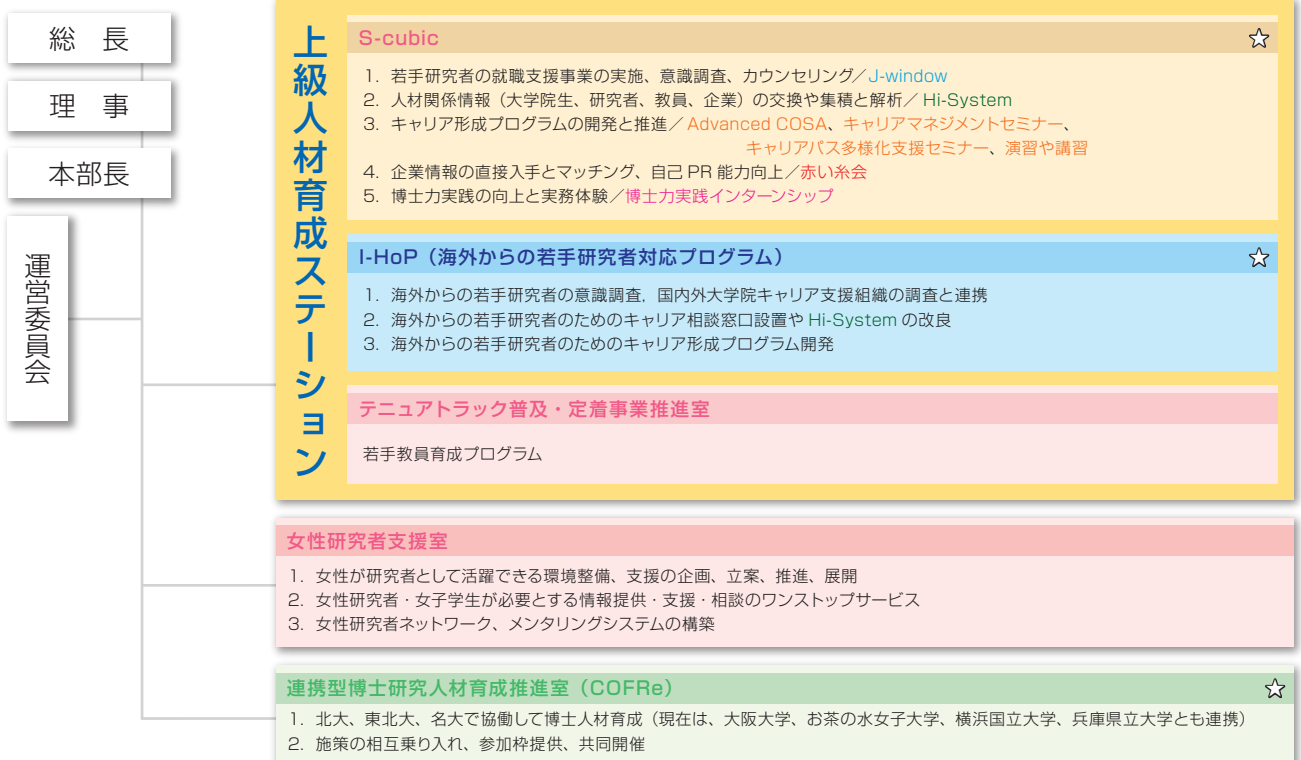
また平成 26 年度秋から、本学と同様に人材育成プログラムを展開している東北大および名古屋大の三大学がコンソーシアムを組み、それぞれのプログラムに相互乗り入れ、参加枠提供などの協働ができるようになったことで、ますますその内容が充実しています。さらに昨年、この人材育成コンソーシアムには新たに 3 大学が参加することとなり、そのプログラム群は多様な若手人材が集う場としていっそうの広がりを見せています。これらの実態については、本冊子に詳しく記載しましたので、ぜひ一読下さい。

S-cubic は、皆さんが自らの進路やキャリアを開拓していくために必要なスキルを身に付けるための情報や産業界とのマッチングの場等を提供します。まず Hi-System に登録しプログラムに参加してみてください。きっと視野が大きく広がると思います。またプログラム参加経験者は仲間にその情報を是非伝えてください。皆さんのご活用を期待しています。

人材育成本部

組織と役割

人材育成本部は、博士課程学生 (DC) や博士研究員 (PD) のキャリアパス多様化支援をはじめ、次世代リーダーとしてのテニュアトラック教員の採用と育成、また研究者を目指す女性の教員や学生のための環境整備・支援活動を行います。



☆: DC・PDのキャリア支援チーム

年間スケジュール(予定)

▽H30年度

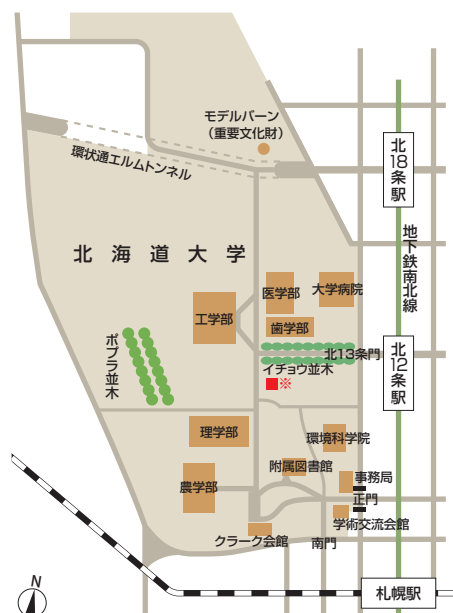
開催時期	アクティビティー	MC	DC	PD	単位
4月～7月	キャリアマネジメントセミナー(MOT関連)	●	●	●	☆
6月下旬	キャリアパス多様化支援セミナーI(知的財産)	●	●	●	☆
7月中旬	キャリアパス多様化支援セミナーII(プロジェクトファシリテーション)	△	●	●	☆
7月中旬	キャリアパス多様化支援セミナーIII(交渉学)	△	●	●	☆
7月下旬	Advanced COSA(1)	●	●	●	☆
8月上旬	Advanced COLA	●	●	●	
9月上旬	第35回赤い糸会のためのプレゼンテーション演習	×	●	●	☆
9月下旬	第35回赤い糸会&緑の会(札幌)	×	●	●	☆
10月上旬	ビジネスマナーの基本と実践	△	●	●	
10月中旬	第36回赤い糸会のためのプレゼンテーション演習	×	●	●	☆
10月下旬	第36回赤い糸会&緑の会(札幌)	×	●	●	☆
11月上旬	ビジネスコミュニケーションセミナー	△	●	●	
11月中旬	第37回赤い糸会のためのプレゼンテーション演習	×	●	●	☆
11月下旬	Advanced COSA(2)	●	●	●	☆
11月下旬	第37回赤い糸会&緑の会(札幌)	×	●	●	☆
1月中旬	第38回赤い糸会のためのプレゼンテーション演習	×	●	●	☆
2月上旬	第38回赤い糸会&緑の会(東京)	×	●	●	☆
2月上旬	企業事業所視察(道外)	×	●	●	☆
3月上旬	博士インターンシップ体験報告会	●	●	●	

●受講対象 ○条件付き受講対象 △イベント開催案内参照 ×受講対象外

☆単位取得要件についてはシラバスを参照

※詳細日程や時間等はホームページでご確認下さい。

[URL] <http://www2.synfoster.hokudai.ac.jp/S-cubic>



北海道大学 人材育成本部 上級人材育成ステーション S-cubic

〒060-0812
札幌市北区北12条西7丁目
中央キャンパス総合研究棟1号館 1階

TEL: 011-706-3275 FAX: 011-706-3584
E-mail: s-cubic@synfoster.hokudai.ac.jp
URL: <http://www2.synfoster.hokudai.ac.jp/S-cubic>



【発行元】北海道大学 人材育成本部 上級人材育成ステーション S-cubic
【発行日】2018.3.15